ITES 一言ラジオ

vol. 9
2026年10月号

テクニカル
サポートセンター
永田祐紀

お題「生産終了品との付き合い方 ～予備品は本当に必要？～」

西田：さぁ今月も始まりました、ＩＴＥＳの一言ラジオ！
前回はバックライトのＬＥＤ化について学んだね！
永田：はい！ＣＣＦＬが生産終了となり、ＬＥＤ化することで設備をさらに長く使えるという話が印象的でした。
西田：そして前回の最後に少し触れたのが「予備品」の話だったね。
今日は、生産終了品との付き合い方について考えてみようか！

【予備品は必要？】

永田：正直なところ、「壊れたらその時に買えばいい」と思っていたんですが、違うんでしょうか？
西田：現行品ならそれでもいい場合もあるね。でも生産終了品の場合は、そう簡単にはいかないんだ。
永田：生産終了していても買えるんじゃないんですか？
西田：メーカーが生産を終了した部品は、時間が経つほど市場から減っていくんだ。いざ故障してから探しても、
- 在庫がない
- 中古品しかない
- 価格が高騰している

ということは珍しくないんだよ！
永田：じゃあ、必要になりそうな部品を、あらかじめ全部買っておけば安心ですね！

西田：そうなんだけど、必ずしも正解じゃないんだ。
永田：えっ!?なぜですか？
西田：予備品にも管理コストがかかるからね。例えば
- 保管スペースが必要
- 定期的な管理が必要
- 電解コンデンサなどは保管中にも劣化する

という問題がある。

【選択肢を持っておくことの重要性】

永田：では、どんな部品を予備として持つべきなんでしょうか？
西田：一般的には、
- タッチパネル
- ＰＬＣ
- サーボアンプ
- 特殊な電源ユニット

など、設備固有で代替が難しい部品だね。
永田：なるほど。「高価な部品」より、「手に入らなくなると困る部品」が重要なんですね。
西田：その視点はとても大切だよ！

永田：でも予備品を持っていても、いつかは使い切ってしまいますよね。
西田：その通り！だから本当に大切なのは、
- 修理する
- 予備品を確保する
- 置き換える
- 更新する

という選択肢を早めに考えておくことなんだ。
永田：前回までの予防保全や置き換え修理の話ともつながりますね！
西田：私たちもお客様から、「予備品を買った方がいいですか？」という相談をよくいただくんだ。でも答えは設備によって違う。
永田：一律ではないんですね。
西田：そう！設備の重要度や稼働状況によっては、予備品よりも先に修理方法を確立した方がいい場合もあるし、予備品よりも置き換え計画を考えた方が良い場合もある。
だからまずは現状を把握することが大切なんだ。
永田：今回学んだことで印象に残ったのは、予備品は「持っていれば安心」というものではなく、「将来困らないための準備の一つ」だということです。
壊れてから探すのではなく、壊れる前に、
- 修理できるのか
- 予備品を確保するのか
- 更新を考えるのか

を決めておくことが大切なんですね。
西田：その通り！予備品を準備することは大切だけど、それですべての問題が解決するわけじゃないんだ。予備品がない場合もあれば、故障した部品そのものが修理できないこともある。
永田：確かに、予備品があれば安心だと思っていましたが、それだけではないんですね。

次回のテーマ

【ＰＣが壊れた！修理？置き換え？】

西田：工場や設備で使われている産業ＰＣでは、
- 修理する
- 置き換える
- 更新する

といった判断が必要になる場面が少なくないんだ。
永田：設備の中で使われているＰＣにも、いろいろな選択肢があるんですね！ぜひ詳しく教えてください！
西田：次回は、「ＰＣが壊れた！修理？置き換え？」をテーマに、産業用ＰＣのトラブル対応について話してみよう。
永田：楽しみです！しっかり勉強します！

今日の一言

「備えは在庫だけじゃない。選択肢を持つことも備えになる。」